

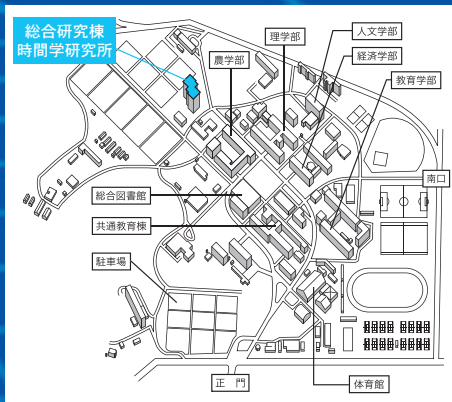
多数の講演やイベント、
出版などを通じて、
時間学の知見を普及しています。
より詳しい情報や、
最新の告知につきましては、
ホームページをご覧ください。

<http://www.rits.yamaguchi-u.ac.jp>

時間学 研究所

THE RESEARCH INSTITUTE FOR TIME STUDIES

RITS



〒753-8511 山口県山口市吉田1677-1 山口大学時間学研究所
TEL 083-933-5848 / 083-933-5000 (山口大学代表)

<http://www.rits.yamaguchi-u.ac.jp>
jikann@yamaguchi-u.ac.jp



【テキスト紹介】

時間学研究所のスタッフによるテキスト『時間学概論』が刊行されました。「時間の流れと記録」「生きものと社会の時間」の二部構成からなり、理系・文系の枠を超えた幅広い内容となっています。また、時間学研究所設立の基礎となった林原フォーラム「時間と時」(1999年)の記録が、『時間と時 一今日を豊かにするためにー』として刊行されています。



時間学研究所は、
世界唯一の、
時間に関する総合的な研究所として
活動を続けています。
国際的な研究拠点造りを
目指すとともに、

yamaguchi-u.ac.jp

ACTIVITY

【教育】	共通教育 「時間学A(1年後期)」「時間学B(2年前期)」 哲学(青山) 宇宙と人間(藤澤) など 専門教育 西洋哲学特殊講義(青山, 人文学部) など 関連学部における授業を多数担当
【出版】	『時間学概論』時間学研究所編(恒星社厚生閣) 『時間と時』廣中平祐他編(学会出版センター) その他、研究メンバーによる出版物多数
【シンポジウム】	2009年 6月 日本時間学会設立記念公開学術シンポジウム 2009年11月 国際シンポジウム「東アジアの暦と近代化」 2010年 6月 公開学術シンポジウム「死と時間」 2010年12月 国際シンポジウム「体内時計と健康社会」 2011年 6月 公開学術シンポジウム「時間体験の基礎」 2011年12月 国際シンポジウム「東アジアの最先端天文学」 2012年 6月 公開学術シンポジウム「映像・映画・身体と、時間」 2012年12月 国際シンポジウム「脳と時間」(予定)
【イベント】	2003年 日本科学未来館「時間旅行館」ナビゲーター 同展世界巡回展示(中国・メキシコ・ポーランド等) 2008年より 東京国際交流館「サイエンスアゴラ」出展
【セミナー】	研究グループ主体の「時間学セミナー」を定期的開催 国内外の研究者を招いて「時間学特別セミナー」を開催 市民向けライブニングセミナー(東京)を定期的開催
【その他】	NHK「クローズアップ現代」に出演 NHK「あさイチ」出演 「山口大学公開講座」開講

STAFF

時間学研究所は現在、総勢約30名。所長、専任教員5名、研究・事務スタッフおよび名誉所長、客員教授で構成されています。そこに山口大学内外の教員約100名も様々なかたちで関わっています。



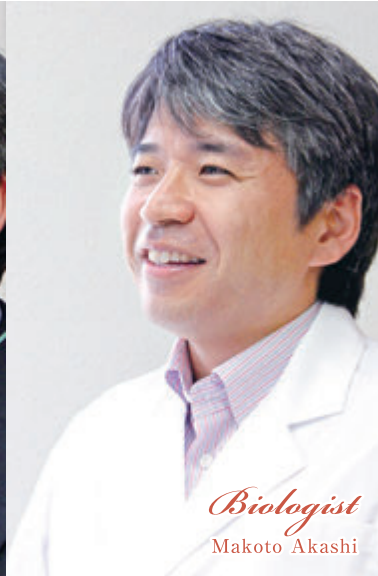
Civil Engineer
Masato Shinji



Astronomer
Kenta Fujisawa



Sports & Neuroscientist
Makoto Miyazaki



Biologist
Makoto Akashi



Philosopher
Takuo Aoyama



Sociologist
Hiroki Migita

所長
山口大学時間学研究所教授

進士正人

PROFILE

1957年生まれ(福井県出身)。昭和60年3月神戸大学大学院博士課程自然科学研究科修了。昭和60年4月(株)応用地質調査事務所(現:応用地質株式会社)入社。平成13年7月山口大学工学部助教。平成19年12月山口大学大学院理工学研究科教授。平成24年4月より時間学研究所長併任。

RESEARCH

地震や津波、ゲリラ豪雨や台風などにより生活の基盤が危険にさらされるリスクが高くなってきています。橋梁・トンネル・鉄道・道路などの社会の基本インフラの防災やアンチエージングを研究していきたいと思います。

所員
山口大学時間学研究所教授

藤澤健太

PROFILE

1967年生まれ(大分県出身)。東京大学理学部天文学科卒業。東京大学大学院理学系研究科を修了。博士(理学)。宇宙科学研究所COE研究員、通信・放送機構研究員を経て国立天文台助手、山口大学助教・准教授、2010年4月より現職。2011年、文部科学大臣表彰科学技術賞を時間学研究所グループにて受賞。

RESEARCH

電波望遠鏡を使って天体を観測する研究を行っています。研究対象は星とブラックホールで、これらの天体の研究を通じて、宇宙の現象を時間を軸として考察しています。

所員
山口大学時間学研究所教授

宮崎 真

PROFILE

1971年生まれ(埼玉県出身)。早稲田大学人間科学部スポーツ科学科卒業。東京大学大学院総合文化研究科修士・博士課程修了。博士(学術)。国立リハセンター流動研究員、早大助手、助教、高知工科大准教授を経て、2011年11月より現職。平成23年度 文部科学大臣表彰若手科学者賞受賞。

RESEARCH

心理物理学的手法と神経生理学的手法を用いて、時間知覚や運動タイミング制御といった脳の時間情報処理の機序を探索しています。運動音痴の反動でスポーツスキルに興味を持ち、こういった研究テーマに辿り着きました。

所員
山口大学時間学研究所教授

明石 真

PROFILE

1973年生まれ(北海道出身)。京都大学農学部卒業後、京都大学大学院理学研究科(西田栄介研究室)へ進学。日本学術振興会特別研究員(DC2→PD、SPD)を経て、佐賀大学循環器内科学教員に赴任。2009年10月より現職。2010年、日本時間生物学会学術奨励賞受賞。2011年、文部科学大臣表彰科学技術賞を時間学研究所グループにて受賞。

RESEARCH

24時間社会に生きる現代人の健康のために、体内時計の理解は不可欠です。分子機構の理解を目指した研究を中心に、ヒト体内時計の測定法なども目指しています。

所員
山口大学時間学研究所准教授

青山拓央

PROFILE

1975年生まれ(埼玉県出身)。県立浦和高校、千葉大学、同大学院(博士課程単位取得)、日本学術振興会特別研究員などを経て、2006年4月より時間学研究所教員。2006年、日本科学哲学会石本賞(第1回)を受賞。2011年、文部科学大臣表彰科学技術賞を時間学研究所グループにて受賞。

RESEARCH

哲学の観点から、時間、自由、言語、心身関係をおもに研究しています。時間分析のための思考実験として、タイムトラベルの研究も(これはやや趣味的に)行っています。

所員
山口大学時間学研究所講師

右田裕規

PROFILE

1973年生まれ(島根県出身)。京都大学大学院文学研究科博士後期課程研究指導認定退学。博士(文学)。日本学術振興会特別研究員、大谷大学助教を経て、2012年4月より現職。

RESEARCH

時間にかかわる制度や人びとの意識・営みは歴史的にどう変化してきたかという問いについて社会学的な視点から研究しています。とりわけ主観的に取り組んでいるのは時間意識・制度の近代的再編というテーマです。

GROUP

研究体制は5名の専任研究員と4つの研究グループに分かれ、生物学・医学・社会学・物理学・哲学・文学・理学・工学・心理学・経済学・文化人類学など、数多くの分野の研究者が参加しています。

※時間学セミナーの開催など、各研究グループの活動についてはホームページをご覧ください。

第1 研究グループ

社会的時間と人間的時間の調和の研究

現代社会はグローバル化や情報化が進んだ結果、社会的時間と人間的時間との乖離が激しくなっています。この研究グループでは、社会的時間と人間的時間を科学的に解明し、両者を調和させることを目指した研究をしています。

第2 研究グループ

生物に刻まれる時間と環境変遷に関する研究

悠久の時の中で変化する地球環境と生物進化は、互いにどのように作用してきたのか。その相互作用は生物形成にどのように影響するのか。原生動物からマウスまで様々な生物の観察・実験から、生物にとって時間とは何かを明らかにすることを目指しています。

第3 研究グループ

多文化圏における時間表象の研究

時間をいかに表象するかという問題は、文化や制度と不可分の関係にあります。多文化における時間表象の違いについて、思想・文学・言語学などの観点から検討を加えるとともに、その概念的基盤の哲学研究と、時間芸術への考察を行います。

第4 研究グループ

時間に関する個別融合分野の研究

様々な学問分野において、時間は重要な概念です。そして学問分野ごとに時間の概念も少しずつ違っています。この研究グループでは、医学、農学、物理学、工学など多彩な側面から時間を考察し、時間学という学問の可能性を追求しています。